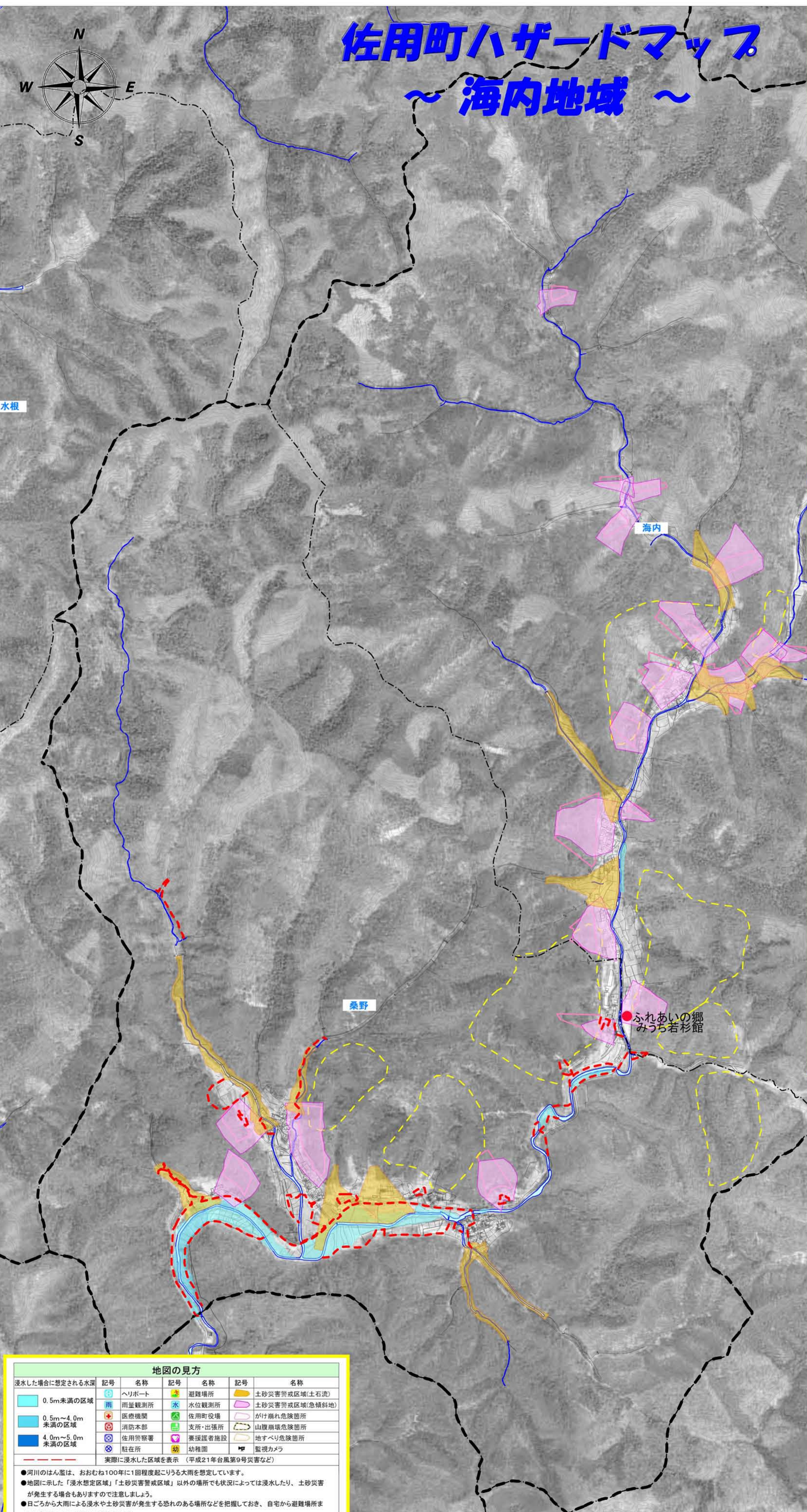


佐用町ハザードマップ

～海内地域～



避難に役立つ情報

河川の水位状況を手しよう

- 国土交通省「川の防災情報」
http://river.go.jp/
- 国土交通省 防災情報提供センター
リアルタイム雨量、観測情報など
http://www.mlit.go.jp/saigai/bosaijoho/
- 千種川流域河川情報システム「水守」
http://www1.winknet.ne.jp/kasen01/ktai.html
- 気象庁
防災気象情報、天気予報、天気図など
http://www.jma.go.jp/jma/index.html

いざというときの連絡先

- 佐用町役場 0790-82-2521
- 上月支所 0790-86-0331
- 南光支所 0790-78-0101
- 三日月支所 0790-79-2981
- 警察 事件・事故の通報 局番なし 110
- 消防 火事・救助・救急 局番なし 119

さよう安全安心ネット

気象情報や防災情報などの緊急情報が携帯電話やパソコンメールに届きます

まずは登録から、①か②の方法で

- 「さよう安全安心ネット」にアクセス
http://bosai.net/sayo/
- QRコード読み取りによるアクセス

メールで読み取り
緊急情報メール
大雨洪水警報
避難情報

災害用伝言ダイヤル

地震など大規模災害発生時は、電話がつかないに状況が数日続きます。このような場合は、「災害用伝言ダイヤル」が開設されます。これは、「声の伝言板」(安否確認)の役割をする電話サービスです。被災地内やその他の地域の人々との間で伝言の録音・再生(確認)をすることができます。

使い方

「171」をダイヤルし、音声ガイダンス(案内)にしたがって、録音・再生してください

伝言を録音する場合 伝言を再生する場合

171+1+自分の家の電話番号(市外局番から) 171+2+連絡をとりたい人の電話番号(市外局番から)

災害用伝言板

大災害発生時、携帯電話「災害用伝言板」メニューから、文字による安否情報の登録・確認サービスが利用できます。登録されたメッセージは、インターネット接続可能な携帯電話やパソコンから確認できます。

避難に関する情報を知ろう

災害時における情報の伝わり方

町は、住民の皆さんに避難が必要と判断した場合、その緊急度に応じた避難情報を発表します。災害における情報の伝達方法を、いざという時に適切な行動がとれるようにします。

避難情報 と 取るべき行動

情報	避難準備情報	避難勧告	避難指示
避難情報	避難の準備、または災害時要援護者が避難を開始するために発表するもの	対象地域の住民に対し、避難を促すものではないが、住民がその動きを尊重することを要請して避難のための立ち退きを勧め、または促すもの	被害の危険が目前に迫っている場合に発生し、勧告よりも拘束力があるため立ち退かせるもの
取るべき行動	●避難準備や気象情報などには注意を払ってください。 ●災害時要援護者などの特別避難行動に時間を要する皆さんは、安全な場所(近所の家、集会所、避難所など)へ避難行動を開始してください。	●お互いに助け合いながら、安全な場所(近所の家、集会所、避難所など)に速やかに避難してください。	●安全な場所(近所の家、集会所、避難所など)に速やかに避難してください。

雨の強さと降り方

※気象庁「雨と風の図」より

1時間雨量 10～20 mm未満	1時間雨量 20～30 mm未満	1時間雨量 30～50 mm未満
やや強い雨がザーザーと降る	強い雨がどしゃ降り	激しい雨がバケツをひっくり返したように降る
地面からの跳ね返りで足元がぬれる	側溝や下水、小さな川があふれる	道路が川のようになる
1時間雨量 50～80 mm未満	1時間雨量 80mm～	
非常に激しい雨が海のように降る(ゴロゴロと降り続く)	猛烈な雨が思惑なくなるような圧迫感がある恐怖を感じる	
マンホールから水が噴出する	大規模な災害が発生する恐れが強くなる	

傘をさしているイメージ

土砂災害警戒区域の見方

土石流	がけ崩れ	地すべり
大雨により谷底にたまった土砂や、山腹から流れた土砂が、水を溜めたり含んだりして一気に流れ下る現象	大雨で地面にしみ込んだ雨水により、急な斜面の土砂が崩れ落ちる現象	斜面の一部あるいは全部が地下水の膨張と重力によってゆっくりと斜面下方に移動する現象
こんな前ぶれがあったら、早めの避難	●がけからの水が湧き出ている ●がけに亀裂が入る ●小石がバラバラ落ちてくる	●地面にひび割れができる ●沢や井戸の水が濁る ●斜面から水が吹き出す
●山崩りや、腐った土の臭いがある ●急に川の流れが急になり、流木が流れる ●雨が降り続けているのに、川の水位が下がる		

水深による浸水状況

地図に記載されている想定水深(ランク)を把握し、必要に応じて避難してください。浸水してからの避難は危険です。浸水状況に危険を感じたら早めに避難してください。

4.0～5.0 m未満
0.5～4.0 m未満
0.0～0.5 m未満

車での避難は控え、徒歩で避難を!

地図の見方

記号	名称	記号	名称	記号	名称
■	0.5m未満の区域	○	ヘリポート	○	避難場所
■	0.5m～4.0m未満の区域	○	雨量観測所	○	水
■	4.0m～5.0m未満の区域	○	医療機関	○	佐用町役場
○	実際に浸水した区域を表示(平成21年台風第9号災害など)	○	消防本部	○	支所・出張所
		○	佐用警察署	○	山腹崩壊危険箇所
		○	駐在所	○	要援護者施設
		○		○	地すべり危険箇所
		○		○	監視カメラ
		○		○	

●河川のはん蓋は、おおむね100年に1回程度起こりうる大雨を想定しています。
●地図に示した「浸水想定区域」「土砂災害警戒区域」以外の場所でも状況によっては浸水したり、土砂災害が発生する場合もありますので注意しましょう。
●日ごろから大雨による浸水や土砂災害が発生する恐れのある場所などを把握しておき、自宅から避難場所までの経路について確認しておきましょう。

避難の判断

平時 住民が適切な避難行動を実現するために必要な知識の習得機会の提供(講習会の開催、防災訓練の開催など)

災害時... 地域の情報を収集 住民が避難行動を判断するためのきめ細かな情報発信

自助・共助

待避 自宅など 安全な場所

自助 避難 自宅を安全確保できる場所に留まること

避難 2階以上の建物 2階以上の建物 避難所 避難所 避難所 避難所 避難所

共助 消防団 自主防災組織 消防団や自主防災組織、避難誘導、避難指示を行う。

その場を立ち退き、近隣の少しでも安全な場所に一時的に避難すること

水平避難 指定避難所 指定避難所 指定避難所 指定避難所 指定避難所

水平避難 指定避難所 指定避難所 指定避難所 指定避難所 指定避難所

原住地と異なる場所での生活を前提とし、指定避難所などに長期的避難すること